科目名	社	会科	学訓	講義(政	治)					
科目名(英)										
単位数		6単位 位に相		時間	数	45時間/90時	間	担当者	村田 祐貴子	
実施年度)22年/		実施時	担当者実務経過	b				
対象学科・学年	公務	員中」	上級専 ²							
授業概要	する。	0							布されるオリジナルレジュメを用いて 量することができるようになる。	習得
授業形式	講義:	0)	段習: △	実	習:	実技	ξ:	※ 主たる方法:O その他: △	7
学習目標 (到達目標)	言語 知的 技能		態度意欲その位		の政治	分野について	、本語	目標式験の問題を	解くのに必要な知識を習得する。	
テキスト・教材 参考図書	•担当	当講師	による	オリジナルレ	゚ ジュ>	L				
	2 統 3 統 4 統 5 統 6 統 7 統 8 統 10 統 11 統 12 統 13 統 14 日 15 日 16 統	台台台台台台台台台台台本本台機機機機機機機機機機機機機機機機機機機機機	青 青 青 青 青 青 青 青 景 景 雪 国 国 内 内 裁 裁 裁 地 地 地 ん 選会 会 会 閣 閣 判 判 判 方 方 方 多 挙	分立 ① ② ③ ④ ① ② 所①		- 内容		新月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月瀬月	授業外学修指示 「例テストの範囲を事前に指定するので、その 「通知を復習しておく。 「例テストの範囲を事前に指定するので、その 「通知を復習しておく。」	
授業計画	18 民: 19 民: 20 各[21 各[22 各[23 基: 24 基: 25 基: 26 基:	主主国国国本本本本	の発見がは、大権を権力を発見がある。これは、大権を権力を持ちませる。	€① €② €① €②	(1) (2) (3)			新月	他囲を復習しておく。 同例テストの範囲を事前に指定するので、その 随囲を復習しておく。 同例テストの範囲を事前に指定するので、その 可囲を復習しておく。 同例テストの範囲を事前に指定するので、その 可しておく。	D該当 D該当 D該当 D該当 D該当 D該当 D該当 D該当

E 1			月例テストの範囲 範囲を復習してお		「るので、その該当					
E 2				目を事前に指定す	「るので、その該当					
E 3			月例テストの範囲	目を事前に指定す	「るので、その該当					
<u>(1)</u>				目を事前に指定す	「るので、その該当					
(2)				目を事前に指定す	「るので、その該当					
- <u> </u>			<u>範囲を復習してま</u> 月例テストの範囲		「るので、その該当					
			範囲を復習してお 月例テストの範囲		「るので、その該当					
			範囲を復習してお 月例テストの範囲		「るので、その該当					
B求権②			範囲を復習してお	3 ८ 。	るので、その該当					
望求権③			範囲を復習してお	3 <						
の平等①)		範囲を復習してお	ن <	るので、その該当					
の平等②)		範囲を復習してお	3 ८ 。	「るので、その該当					
の平等③)	月例テストの範囲を事前に指定するので 範囲を復習しておく。								
			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当 範囲を復習しておく。							
				国を事前に指定す	「るので、その該当					
				目を事前に指定す	「るので、その該当					
				目を事前に指定す	「るので、その該当					
、昭和初期)])			目を事前に指定す	「るので、その該当					
			月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当 範囲を復習しておく。							
原以上)•B(70点	「る。(2)翌年1・3月 0点以上)・C(60点 方法に代えて、レオ	以上)・D(59点以	以下)とする。							
言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合					
0					72%					
0					28%					
月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 1つの単元を複数回の授業に跨って説明する。 ***********************************										
				て説明する。 た						

科目名	1	社会	€科	学	討講	義(経済	})						
科目名(英)													
単位数	(6. 2単位	単位だよ)	時間数	;	30時間/90時	間	担当者		村田 祐	貴子
実施年度	·		22年		,	実施時期	Я	前期		担当者実務	圣験		
対象学科・学年	1	公務員	钟_	上級	専攻	 :科1年							
授業概要	9	ける。										されるオリジナルレジ - ることができるように	
授業形式	講	義:	C)	演	習: △	実習	7:	実技	支 :		※ 主たる方法: 〇	その他:△
	言語情報		運動 技能	態度意欲	その他	社会科学の	経済を	・ 野について	. 本	目標 試験問題を)に必要な知識を習得	∤ する。
学習目標						122111	12010	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		1-V-3V(1-17CE C 7)	11 100		., •
(到達目標)													
テキスト・教材 参考図書		担当	講師	اتا	こるオ	·リジナルレシ	ジュメ						
	回数					授業	項目・∣	 内容				授業外学修	指示
	1	経済	のし	くみ	市	場と価格①					節用?	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
	2	経済	のし	くみ	市	場と価格②					月例-	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
	3	経済	のし	くみ	市	場と価格③						テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	で、その該当
	4	経済	のし	くみ	市	場と価格④						テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	さするので、その該当
	5	経済	のし	くみ	市	場と価格⑤					範囲	テストの範囲を事前に指定 <u>を復習しておく。</u>	
	6	企業	のし	くみ	企	業の種類①					範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
	7	企業	のし	くみ	企	業の種類②					範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
	8	景気	と物	価(1)						範囲	テストの範囲を事前に指定 <u>を復習しておく。</u>	
	9	景気	と物	価値	2)						範囲?	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
		景気									範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
	11	金融	と日	本針	限行(の金融政策①	D				範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
			-			の金融政策②					範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。 	
	13	金融	と日	本針	限行の	の金融政策③	3)				範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。	
					限行の	の金融政策の	<u>)</u>				範囲?	テストの範囲を事前に指定 <u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	
授業計画		財政									範囲	テストの軋囲を事前に指定 <u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	
		財政									範囲	テストの範囲を事前に指定 <u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	
		財政			50.0						範囲	テストの範囲を事前に指定 を復習しておく。 テストの範囲を事前に指定	
		為替									範囲	テストの報因と事前に指定 <u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	
		為替									範囲	<u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	
		為替									範囲?	<u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	
						わり① 					範囲	を復習しておく。 テストの範囲を事前に指定	
						わり② 					範囲	を復習しておく。 テストの範囲を事前に指定	
						わり③ 成長①					範囲	を復習しておく。 テストの範囲を事前に指定	
						以 及 ① 成長②					範囲	を復習しておく。 テストの範囲を事前に指定	
						以及② 成長③					月例	を復習しておく。 テストの範囲を事前に指定	さするので、その該当
						(区) 構造と課題(1	<u> </u>				月例-	<u>を復習しておく。</u> テストの範囲を事前に指定	さするので、その該当
		2010	· II 1	一个工人	<u>л</u> •/	一方のことで	<i>ب</i>				範囲	を復習しておく。	

	28 現代日本経済の構造と	課題②			月例テストの範囲 範囲を復習して		するので、その該当						
	29 現代日本経済の構造と	課題③			月例テストの範囲 範囲を復習しては		するので、その該当						
	30 経済学史				月例テストの範囲 範囲を復習して		するので、その該当						
	(1)10月〜翌年2月の間、毎月1回月満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A なお、遠隔授業に切り替わった場合	(80点以上)•B(70	点以上)・C(60点	以上)・D(59点以	以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合						
評価方法	月例テスト	0					72%						
TT	麻生模試	0					28%						
履修上の注意													

科目名	社会科学講義(社会時事)														
科目名(英)															
単位数	6単位 (1単位に相当) 時	間数	15時間/90時間	担当者		村田 祐	貴子								
実施年度	2022年度 実	施時期	前期	担当者実務網	圣験										
対象学科·学年	公務員中上級専攻科1年														
授業概要	公務員1次試験においてと されるオリジナルレジュメ また、公務員本試験の過	を用いて習	得する。												
授業形式	講義: 〇 演習:	△ 実習	y: 実	技:	※ 主た	-る方法∶○	その他:△								
	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他			目標											
	O 社会科	学の社会	・時事分野につい	て、本試験の	問題を解くの	に必要な知言	戦を習得する。								
学習目標 (到達目標)															
テキスト・教材 参考図書	・『公務員試験 速攻の時事・担当講師によるオリジナル		試験完全対応』(資格試験研究:	会(編集)、実務	教育出版、20	23年)								
	回数 授業項目・内容 授業外学修指示 1 労働事情 労働三法 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当														
	1 労働事情 労働三法 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を事前に指定するので、その該当範囲である。 1 労働事情 労働三法 日間におります。														
	1 方衡争情 方衡三法 範囲を復習しておく。 2 労働事情 労働問題 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。														
	2 労働事情 労働問題 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当 範囲を復習しておく。 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当														
	日間ニューの佐田とませに北ウナスのマースの計火														
	5 社会保障 少子化対策				月例テストの範囲	囲を事前に指定 [・]	するので、その該当								
	6 社会保障 公的扶助					囲を事前に指定	するので、その該当								
	7 社会保障 障害者対策					囲を事前に指定	するので、その該当								
授業計画	8 環境問題 環境に関する	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			範囲を復習してる 月例テストの範	囲を事前に指定	するので、その該当								
	9 環境問題 エネルギー問				範囲を復習してる 月例テストの範囲	おく <u>。</u> 囲を事前に指定 [・]	するので、その該当								
	10 環境問題 生態系	11/65			範囲を復習してる 月例テストの範		するので、その該当								
					範囲を復習して 月例テストの範		するので、その該当								
	11 世界遺産・ノーベル賞				範囲を復習して	おく。	するので、その該当								
	12 各種政策 観光				範囲を復習して	おく。	するので、その該当								
	13 各種政策 消費者問題				範囲を復習して	おく。	するので、その該当								
	14 世界経済				範囲を復習して	おく。	するので、その該当								
	15 日本経済				範囲を復習して		するので、その該当								
	(1)10月〜翌年2月の間、毎月1回月 満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(なお、遠隔授業に切り替わった場合	(80点以上) • E	3(70点以上)•C(60点	以上)・D(59点以	以下)とする。										
		言語情	報 知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合								
評価方法	月例テスト	0					72%								
	麻生模試	0					28%								
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は近 1つの単元を複数回に跨って 社会情勢の変化に伴い、回し	説明すること	ともある。		合がある。										

科目名	人文科学講	 義(日本史	1)													
科目名(英)																
単位数	3単位	時間数	16時間/45時間	担当者		小川 文	(夫									
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務	経験											
対象学科•学年	公務員中上級専攻	Z科1年														
授業概要	公務員1次試験に 得する。 また、公務員本試験															
授業形式	講義: 〇 演	習: △ 実	習: 9	実技:	※ 主た	-る方法∶○	その他:△									
** TR F 1=	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他		·	目標	5											
学習目標 (到達目標)	0	人文科学の日本	史分野について	、本試験の問	題を解くのに必	必要な知識を ³	習得する。									
Carlotte in the																
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用しな 担当講師によるオ		上使用する。													
	回数	授業項目	·内容			授業外学修打	旨示									
	1 大和時代						するので、その該当									
	2 奈良時代	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
	3 平安時代① 摄	 第四を復習しておく。 3 平安時代① 摂関政治 第四を復習しておく。 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。 														
	4 平安時代② 院副				月例テストの範囲	囲を事前に指定す	するので、その該当									
					範囲を復習して 月例テストの範囲		するので、その該当									
	5 鎌倉時代① 執棒				範囲を復習して	おく。	するので、その該当									
	6 鎌倉時代② 社会				範囲を復習して	おく。										
	7 室町時代① 南	北朝期			範囲を復習して	おく。	するので、その該当									
授業計画	8 室町時代② 戦日	国期			範囲を復習して	おく。	するので、その該当									
	9 安土桃山時代				月例テストの範囲 範囲を復習して		するので、その該当									
	10 江戸時代① 鎖圓	 国				囲を事前に指定す	するので、その該当									
	11 江戸時代② 天任	 保の改革			月例テストの範囲	囲を事前に指定す	するので、その該当									
	12 明治時代① 明決					囲を事前に指定す	するので、その該当									
	13 明治時代② 日泊					囲を事前に指定す	するので、その該当									
		月 口路预力			範囲を復習して 月例テストの範囲		するので、その該当									
	14 大正時代				範囲を復習して	おく。	するので、その該当									
	15 昭和時代① 戦前				範囲を復習して	おく。	するので、その該当									
	16 昭和時代② 戦行				範囲を復習して	おく。										
	(1)10月〜翌年2月の間、毎 する。点数は、得点率を基 成績評価基準は、S(90点」 なお、遠隔授業に切り替わ	に、100点満点に換算 以上)・A(80点以上)・E	する。 B(70点以上)・C(60	点以上)・D(59点以	以下)とする。		⊰の観点・割合で評価									
評価方法	_	言語情	辑 知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合									
	月例テスト	0					72%									
	麻生模試	0					28%									
履修上の注意	月例テスト及び麻生物 1つの単元を複数回の 社会情勢の変化に供	の授業に跨って説明	月することもある。		易合がある。											

科目名	人文科学講	 [義(世界史	1)													
科目名(英)																
単位数	3単位	時間数	16時間/45時	間 担当	者		小川 戈	ζ夫								
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実	務経験											
対象学科•学年	公務員中上級専攻	【科1年														
授業概要	公務員1次試験に 得する。 また、公務員本試験															
授業形式	講義: O 演	習: △ 実	習:	実技:		※ 主た	-る方法∶○	その他:△								
** TR F 1=	言語 知的 運動 態度 情報 技能 技能 意欲 その他		·	F	目標											
学習目標 (到達目標)	0	人文科学の世界	史分野につい	て、本試験の	問題を何	解くのに必		習得する。								
(F)Æ [1] [N/																
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用した 担当講師によるオ		上使用する。													
	回数	授業項目	·内容				授業外学修持	指示								
	1 中国史① 殷~月	 唐						するので、その該当								
	2 中国史② 宋~明	中国史② 宋~明														
	3 中国史③ 清	中国文② 木で切 範囲を復習しておく。 中国史③ 清 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。 第四を復習しておく。 1000 年間を復習しておく。														
	3 中国史③ 清 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該範囲を復習しておく。 4 中国中④ 中華民国 中華人民共和国 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該範囲を事前に指定するので、その該															
			·ME		月例-		囲を事前に指定・	するので、その該当								
	5 中世① 中世封發				範囲:	を復習しては	おく。	するので、その該当								
	6 中世② ルネサン				範囲:	を復習して	おく。									
	7 中世③ 大航海田	诗代			範囲:	を復習しては	おく。	するので、その該当								
授業計画	8 近世				範囲:	を復習しては	おく。	するので、その該当								
	9 近代① 産業革命	 命				テストの範囲 を復習しては		するので、その該当								
	10 近代② ウィーン	 /体制			月例:		囲を事前に指定	するので、その該当								
	11 近代③ 帝国主	 義	-	-	月例-	テストの範囲	囲を事前に指定	するので、その該当								
	12 現代① 第一次1				月例-		囲を事前に指定	するので、その該当								
	13 現代② 戦後	-317712				<u>を復習して</u> を テストの範囲		するので、その該当								
						を復習してま		するので、その該当								
	14 現代③ 世界恐怕				範囲:	を復習して	おく。	するので、その該当								
	15 現代④ 第二次1	世界天戦			範囲:	を復習して	おく。	するので、その該当								
	16 現代⑤ 冷戦				範囲	を復習して	おく。									
	(1)10月〜翌年2月の間、毎 する。点数は、得点率を基 成績評価基準は、S(90点」 なお、遠隔授業に切り替わ	に、100点満点に換算 [.] 以上)・A(80点以上)・E	iする。 B(70点以上)・C(6	60点以上)・D(59	9点以下)と	とする。		己の観点・割合で評価								
評価方法		言語情	報 知的技能	能 運動技能	能 態 [度∙意欲	その他	評価割合								
	月例テスト	0						72%								
	麻生模試	0						28%								
履修上の注意	月例テスト及び麻生物 1つの単元を複数回の 社会情勢の変化に供	の授業に跨って説明	月することもある。		う場合か	ぶる 。										

科目名	,	人文	科学	学講	義(地理	里)										
科目名(英)																
単位数		3単	位		時間数		13時間/45	時間	担当者		小川フ	 文夫				
——————— 実施年度		2022	—— 年度		実施時期	y y	前期		担当者実務	圣験						
対象学科・学年	1/2	△務員中	—— □上級	専攻	L (科1年											
	,	、数昌1	انات انات	[全]--	ハンナ山町さ	للل 7 ماء	明八駅の	⁄- በ ≣±೬ ታ	- 拉娄内不	ロナナムフナ	112% 11.2%	ュメを用いて習得				
授業概要	9	ける。									できるようにな					
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習	7:	実	技:	※ 主	たる方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他					目標							
	0				人文科学の	地理分	う野につい	て、本	試験問題を	解くのに必要	な知識を習得	する。				
学習目標 (到達目標)																
(21)Œ [1 1)K/																
テキスト・教材 参考図書		テキストは使用しない。 担当講師によるオリジナルレジュメを使用する。 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	回数 授業項目·内容 授業外学修指示														
	1	1 地形① 大地形 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。														
	2	1 地形(2) 海岸地形・その他の地形 第囲を復習しておく。 1 地形(2) 海岸地形・その他の地形 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当														
	3	2 地形② 海岸地形・その他の地形 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。														
	4	気候2	ケッ	ッペン	·、気圧、風						囲を事前に指定	するので、その該当				
	5	気候③	気側	侯区 2	 分						囲を事前に指定	するので、その該当				
	6	気候4	気 気 (侯区 2	分、グラフの!	 見方					囲を事前に指定	するので、その該当				
授業計画	7	農業①	農	業区名	 分						囲を事前に指定	するので、その該当				
	8	農業②) 各層	農業(カ 特色①						囲を事前に指定	するので、その該当				
	9	農業③)、漁	業 名	治農業の特色	,(2)				月例テストの範	囲を事前に指定	するので、その該当				
					トルギー資源						囲を事前に指定	するので、その該当				
	11	地下資	源(2)	鉱L	山資源						囲を事前に指定	するので、その該当				
		工業①									囲を事前に指定	するので、その該当				
		工業②									囲を事前に指定	するので、その該当				
	する。成績	。点数は、 評価基準	得点 ^図 は、S(率を基 (90点)	に、100点満点 以上)・A(80点以	こ換算す ↓上)•B(·る。 (70点以上) •(C(60点	以上)・D(59点以		する。以上を下	記の観点・割合で評価				
					1	語情報	级 知的排	支能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合				
評価方法			例テ			0						72%				
		F	床生梈	試		0						28%				
屋板しの注意					模試は通常の											
履修上の注意					数回の授業に キい、回によっ				。 講義等を行 う 均	易合がある 。						

												71	2324 13 1 3 3	1/ 14	11-11/2 - 2 - 4 -	
科目名	自然科学講義(物理) 3単位 時間数 9時間/45時間 担当者 上村 一則															
科目名(英)																
単位数		3	単位	ż		時	間数	9時	持間/45時間	扎	旦当者		上柞	寸 —	·則	
実施年度		202	22年	度		実施	時期		前期	担当	者実務 統	経験				
対象学科・学年	1	〉務員	•中.	上級	専攻	:科1年										
授業概要	9	ける。											オリジナルレ こができるよ ^っ		メを用いて習得	
授業形式	講	義:	C)	演	習: 4	2 実習	習:	9	₹技:		* :	主たる方法:	0	その他:△	
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他						目標	Į				
	0					自然科:	学の物理:	分野	について、	本試験0	D問題	を解くのに	必要な知識を	を習行	导する。	
学習目標																
(到達目標)																
テキスト・教材 参考図書	担	担当講師によるオリジナルレジュメ														
	回数															
	1	速度	と加	速度	吏							月例テストの 範囲を復習		指定す	るので、その該当	
	2	力の	つり	J合し	\ (1)							月例テストの)範囲を事前に	指定す	るので、その該当	
	3	力の	つり	J合し	\ (2))範囲を事前に	指定す	るので、その該当	
		ばね										節囲を復習 月例テストの		指定す	るので、その該当	
授業計画					> 11 -1	ř – ①						範囲を復習 月例テストの		指定す	るので、その該当	
												範囲を復習日例テストの		指定す	るので、その該当	
				:エネ	ペルコ	F-2						範囲を復習	しておく。			
	7	波動)									範囲を復習	しておく。		るので、その該当	
	8	電気	と磁	绞								月例テストの 範囲を復習		指定す	るので、その該当	
	9	原子	と原	子村	亥)範囲を事前に	指定す	るので、その該当	
	以上 成績	を下記 評価基	Bの観 基準は	点・割 は、S(割合で 90点」	評価する。 以上)・A(8	点数は、得 0点以上)・E	·点率 3(70)	る。(2)翌年1・3 を基に、100点 点以上)・C(60 代えて、レポー	満点に換算 点以上)・[算する。 D(59点り	以下)とする。	実施する。 ることがありうる)°		
							言語情	報	知的技能	運動	技能	態度•意	欲 その他	<u> </u>	評価割合	
評価方法			月	列テ	スト		0								72%	
計画力法			麻	生模	試		0								28%	
	_	- /p/ —	-	TL 20.	 /	共言学/上 *マ	当の哲学し	.14.0	10====	+++-+						
履修上の注意	1	つのÈ	単元を	を複数	数回(の授業に	垮って説明	する	川のコマ内で) 。 美に切り替えて		-	景合がある。				

科目名	自然科学講義(化学) 3単位 時間数 11時間/45時間 担当者 上村 一則															
科目名(英)																
単位数		3単位	立		時間	間数	111	寺間/45時間	1	担当者			上村	一則		
実施年度	2	022年	度		実施	時期		前期	1	担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	公務	員中	上級	専攻	:科1年											
授業概要	する	0								、授業内で配					いて習得	
授業形式	講義:	(O	演 [:]	習:	7	習:	5	旲技	į:	>	く 主た	-る方法:C	その	他:△	
	言語 知的情報 技能		態度意欲	その他				<u> </u>		目標						
	0				自然科学	学の化学	分野	について、	本訪	試験の問題	を解く <i>0</i>	に必要	要な知識を	習得する	0	
学習目標																
(到達目標)																
テキスト・教材 参考図書	担当	講師	によ	るオリ	ノジナルロ	レジュメ										
	回数															
	1 物	1 物質の構造① 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当 範囲を復習しておく。														
	2 物	質の	構造	2							月例テス	ストの範囲を	囲を事前に指	定するので	、その該当	
	3 化	学反应	芯式								月例テ	ストの範	囲を事前に指	定するので	、その該当	
	4 物	質の	状態								月例テス		囲を事前に指	定するので	、その該当	
	5 酸	と塩基	ŧ.								月例テ	<u>复習して</u> る ストの範囲 复習してる	囲を事前に指	定するので	、その該当	
授業計画	6 酸	化∙還	元								月例テス	ストの範[囲を事前に指	定するので	、その該当	
		体の性		と溶ん	 経度						月例テ		囲を事前に指	定するので	、その該当	
	-	期表。									月例テ		囲を事前に指	定するので	、その該当	
				业 /雨,	10 At							复習しては	おく。 囲を事前に指	定するので	、その該当	
		属元									範囲を征	复習して				
	10 有		台物								範囲を征	复習して				
	11 環	境										を習して		たするので	、その該当	
	する。点 成績評価	数は、 5基準1	得点 は、S(を基 90点」	に、100点溢 以上)・A(80	端点に換算 0点以上)・1	する。 B(70点	点以上)•C(60	点以	こ各1回ずつ「M ↓上)・D(59点↓ 果題提出等のプ	以下)とす	 る。		下記の観点	・割合で評価	
						言語情	報	知的技能	:	運動技能	態度	·意欲	その他	評	価割合	
評価方法			例テ			0									72%	
		麻	生模	試		0									28%	
									+							
									+							
	月例	テスト	及び	麻生	莫試は通常	常の授業を	とは別	のコマ内で	実施	 Ēする。						
履修上の注意	100)単元	を複	数回(の授業に関	夸って説明	する	0		まいる。 義等を行う場	易合があ	る。				

科目名		自然	科学	学講	義(生	物)										
科目名(英)																
単位数		3単	位		時間	数	14時	持間/45時	間	担当者		上村 -	一則			
実施年度		2022	年度		実施時	期		前期		担当者実務	経験					
対象学科•学年	1	公務員中	上級	東攻	7科1年											
授業概要	-	する。										·リジナルレジ ができるように	ュメを用いて習得なる。			
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実	習:		実担	支:	※ 主	たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 運動技能 技能						,		目標						
₩ 10 □ 12	0				自然科学	の生物	分野	について	、本	試験の問題	を解くのに必	要な知識を習	得する。			
学習目標 (到達目標)																
テキスト・教材 参考図書	į.	担当講師によるオリジナルレジュメ 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数															
	1	1 生体のつくり 月例テストの範囲を事前に指定するので、その診範囲を復習しておく。														
	2	範囲を復省しておく。 2 細胞分裂														
	3	2 神胞が衰 範囲を復習しておく。 日倒って 2 の 第一年 2 を 2 と 2 と 3 と 4 と 4 と 5 と 5 と 6 と 5 と 6 と 6 と 6 と 6 と 6 と 6														
	4	遺伝									月例テストの筆範囲を復習し		するので、その該当			
	5	酵素									範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	6	同化(七合原	戊)							範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
授業計画	7	異化(四	乎吸、	発酵	‡)						範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	8	刺激と	反応	(神経	E系、目·耳	•筋肉)					範囲を復習して	ておく。	けるので、その該当			
	9	恒常性	と調	節(血	1液)						範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	10	恒常性	と調	節(自	1律神経、5	色疫)					範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	11	植物の	反応								範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	12	動物の	行動								範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	13	生態系	;								範囲を復習して	ておく。	するので、その該当			
	14	進化									月例テストの筆 範囲を復習し		するので、その該当			
	以上 成績	を下記の 評価基準	観点・ は、S	割合で (90点)	ぎ評価する。点 以上)・A(80点	数は、得 (以上)・E	点率る 3(70点	を基に、100 ā以上)・C(点満 60点	に各1回ずつ「M 点に換算する。 以上)・D(59点り 課題提出等のプ	以下)とする。					
						言語情	報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
評価方法			例テ			<u> </u>							72%			
		JA	末生 樽	足試		0							28%			
												+				
履修上の注意	1	つの単え	を複	数回(模試は通常の授業に跨っ の授業に跨っ	って説明	する。	0		施する。 構義等を行う場	 場合がある。					

科目名	自然科学講義(地学) 3単位 時間数 11時間/45時間 担当者 上村 一則															
科目名(英)																
単位数	3	3単位			時間]数	11時	寺間/45時間	7	担当者			上	村 -	-則	
実施年度	20	22年月	度		実施	時期		前期	4	担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	公務	具中上	L級I	専攻	科1年											
授業概要	する。									、授業内で配					∟メを用いて習得 なる。	
授業形式	講義:	0)	演習	習: △	主 主	習:	ᢖ	€技	:	;	※ 主た	-る方法	::O	その他:△	
	言語 知的情報 技能		態度意欲	その他				II.		目標						
	0				自然科学	の地学	分野	について、	本記	試験の問題?	を解くの	つに必要	要な知識	能を習	得する。	
学習目標																
(到達目標)																
テキスト・教材 参考図書	担当	講師に	こよる	るオリ	JジナルL	ンジュメ										
	回数															
	1 地球	1 地球の構造 月例テストの範囲を事前に指定するので、その該当 範囲を復習しておく。														
	2 地窟	Ē									月例テ	ストの範して	囲を事前に	こ指定で	するので、その該当	
	3 岩石	・火に	Щ								月例テ	<u>を目して</u> ストの範 復習して	囲を事前に	こ指定	するので、その該当	
	4 大気	気の構	成								月例テ	ストの範	囲を事前に	こ指定	するので、その該当	
	5 天気										月例テ	復習して ストの範	囲を事前に	こ指定	するので、その該当	
授業計画		・ kの運	重動								月例テ		囲を事前に	こ指定で	するので、その該当	
		易系の		* (1)							範囲を 月例テ	<u>復習して</u> ストの範	おく。 囲を事前1	こ指定	するので、その該当	
		易系の										<u>復習して</u> ストの範		こ指定す	するので、その該当	
		カホリ	/ //	4 Z								<u>復習して</u> ストの範		こ指定す	するので、その該当	
	9 月	-	- '"	- 11 .							範囲を	復習して	おく。		するので、その該当	
	10 恒星			<u> </u>							範囲を	復習して	おく。		するので、その該当	
	11 地球	求の歴	型									復習して		~11 Æ	9 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	
	以上を下記 成績評価	記の観り 基準は	点·割、S(9	合で 0点以	評価する。 以上)・A(80	点数は、得 点以上)・E	点率? 3(70点	を基に、100点 点以上)・C(60	満点 点以	上)•D(59点以	以下)とす	-る。				
	なお、返院	授業に	こりり	督わ	った場合は	、上記の方 一 言語情		代えて、レホー 一 知的技能		題提出等の力 運動技能						
		日佰	リティ	7 L			羊 区	邓明报能		<u> </u>	忠及	•意欲	その	11111	評価割合 72%	
評価方法			主模												28%	
		ит_	L 17	D2V											2070	
									\dagger							
履修上の注意	1つの.	単元を	·複数	女回の	り授業に路	って説明	する。			する。 義等を行う場		 うる。				

											итд	- 4705	(4) 11 IV	田岡牧ノノハス		
科目名	Ż	数的処	理	講	義(判	断推	理.)								
科目名(英)																
単位数	(6単位 3単位にす			時間	数	458	寺間/90時間		担当者			花水(倫尚		
実施年度		2022年	度		実施	寺期		前期	扎	旦当者実務網	圣験					
対象学科・学年	4	公務員中_	上級耳	専攻	科1年											
授業概要	ار	レ教材を依	吏用し	てき	学習し、解	法を理	解す					Ⅎテーマ	をオリジナル	テキストとデジタ		
授業形式	講	義: C		演習	習: △	実	習:	実	技	:		※ 主た	とる方法:○	その他:△		
******	言語 情報	知的 運動 技能 技能	態度 意欲 *	その他		<u>'</u>		'		目標						
学習目標 (到達目標)	0				各単元の	基本問	題に	ついて、解え	よを	理解する。						
		0			本試験と	司内容	• 同程	星度の練習問	問題	に対する解	き方	を身に作	付ける。			
テキスト・教材 参考図書	ſ	『絶対合格シリーズ【判断推理】テキスト編』(株式会社麻生キャリアサポート、2022年) 授業項目・内容 授業外学修指示														
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 数的処理について														
	1	数的処理について														
	2	対応関係														
	3															
	l-									題の反復及び	テキスト内の関連問題					
	4	順序関係						を必ず	*解く。		テキスト内の関連問題					
	5	平面図形	<u> </u>					を必ず	*解く。		テキスト内の関連問題					
	6	うそつき									を必ず	*解く。				
	7	展開図(1)•唐	ま 開	図(2)						を必ず	解く。		テキスト内の関連問題		
授業計画	8	論理									を必ず	解く。		テキスト内の関連問題		
技术可凹	9	集合·人	数								授業で		題の反復及びる	Fキスト内の関連問題		
	10	軌跡										扱った問	題の反復及びた	Fキスト内の関連問題		
	11	試合∙勝	敗									:扱った問	題の反復及びた	テキスト内の関連問題		
	12	多面体・	切断	• 🗇 j	 転						授業で	扱った問	題の反復及びた	テキスト内の関連問題		
		空間図形										が扱った問	題の反復及び	テキスト内の関連問題		
		位置・方		× 11/2							<u>を必ず</u> 授業で		題の反復及び	テキスト内の関連問題 アキスト内の関連問題		
			-	/ 生川							<u>を必ず</u> 授業で		題の反復及び	テキスト内の関連問題		
	-	空間図形	2017.	」							を必ず	[*] 解く <u>。</u> [₹] 扱った問	題の反復及び	テキスト内の関連問題		
		手順									を必ず	「解く。		テキスト内の関連問題		
	17	数量推理	≝								を必ず			イスト内の房建同處		
評価方法	する。	。点数は、得 評価基準は	身点率 t、S(9	を基10点以	こ、100点満 以上)・A(80)	点に換算 点以上)・I	する。 B(70;		点以	上)・D(59点以	J下)と	する。		記の観点・割合で評価		
	言語情報 知的技能 運動技											∙意欲	その他	評価割合		
	月例テスト ◎ ◎															
	<u> </u>		生模		- 	<u>₹₩₩</u>	≅ 111 . 1	(HUI) 0 = =		х ф 1 						
履修上の注意	1	つの単元	を複	数回	の授業に	跨って	説明	:は別のコマ する。 授業に切り				場合が	<u>ある。</u>			

科目名	数的処理	講義(数的	的推理	⊉)											
科目名(英)															
単位数	公務員採用試験で重要科目・分野である数的推理について、その頻出テーマを授業内で配布されるオリ														
実施年度	2022年度	実施時期	FI .	前期	担当者実務網	圣験									
対象学科・学年	公務員中上級項	専攻科1年													
授業概要	ルレジュメ・デシ	験で重要科目・分 ジタル教材を使用 :同内容・同程度の	して学習	習し、解法を理	2解する。		授業内で配布	うされるオリジナ							
授業形式	講義: 〇	演習: △	実習:	美	 !技:	※ 主た		その他:△							
学習目標 (到達目標)	言語 知的情報 技能 技能 意欲 〇				目標 まを理解する。 引題に対する角		けける。								
テキスト・教材 参考図書	テキストは使用 担当講師による	iしない。 るオリジナルレジ	ュメ、デシ	ジタル教材を	吏用する。										
	回数	授業工	項目·内	容			授業外学修	指示							
	1 濃度	2 仕事算・ニュートン算 授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。													
	2 仕事算・ニュー	 (と)													
	3 平均•年齢	ではずま・一ユートン昇 でおった 一世 では、													
	4 三角形と多角	2 11事算・一ユートン算 3 平均・年齢 5 旅人算													
	5 旅人算	三角形と多角形接業後★マークの付いた問題を解いておくこと。旅人算授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。													
	5 旅人 算 授業後★マークの付いた問題を解いておくる														
	7 約数・倍数	6 通過算・流水算・時計算 授業後★マークの付いた問題を解いておくこと。													
	8 円・面積(三角	 角形)				授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	9 場合の数(数	(え上げ・順列)				授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	10 場合の数(組	 合せ・余事象・順	列と組合	合せ・仕切り活	()	授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
授業計画	11 確率					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	12 面積(円・扇用	 肜)・面積(その他)			授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	13 数列•規則					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	14 比と割合					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	15 売買損益					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	16 立体					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	17 整数・記数法					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	18 一次方程式					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	19 連立方程式					授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	20 不等式・不定	 !方程式				授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	21 魔方陣・覆面	算・虫食い算				授業後★マーク	の付いた問題を	解いておくこと。							
	(1)10月〜翌年2月の間する。点数は、得点率成績評価基準は、S(9なお、遠隔授業に切り	間、毎月1回月例テス を基に、100点満点に 90点以上)・A(80点以	換算する 上)・B(70	。 D点以上)・C(60,	点以上)・D(59点以	以下)とする。									
町巡り法			語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合							
	月例テス				72%										
	麻生模		O LITERATOR		1つの単二ナビ	数同の短光に守	って話四十つ	28%							
履修上の注意	デジタル教材を使用	生模試は通常の授業 用するためスマートフ :伴い、回によって遠隔	ォン・タブレ	レットを準備し受	構してください。		ノし캢別りる。								

									•	林土公伤貝	守门子仪馆	福岡校 シラバス			
科目名	肴	径済原	京部		義										
科目名(英)															
単位数		3単位	立		時間	数	45時間		担当者		名越っ	大介			
実施年度		2022年	度		実施問	寺期	前期		担当者実務	経験					
対象学科·学年	1	\$務員中	上級	專項	女科 1年										
授業概要	괕	習得する	。「基	本	り知識」と	は、ミクロ	経済学、マ	クロ	経済学にお		_〒 系、グラフ、計	の基本的知識を †算方法の知識 を養う。			
授業形式	講	義: ()	演	習: △	実習:		実技	支:	※ 主た	:る方法:〇	その他:△			
# 111 C 12	言語 情報	知的 運動 技能	態度 意欲	その他					目標	E .					
学習目標 (到達目標)	0	0			経済原論の	の基本、グ	ラフ、計算を	習得	けさせる。 その	結果、週·月例	テストで合格	点を取れる。			
(五)在日1水/	0	0			本試験に	おける基礎	及び標準程	度の	問題について	て、問題を解き	、正解に達する	ることができる.。			
テキスト・教材 参考図書		・テキストは使用しない。 ・授業中に配布するプリントを使用する。 授業項目・内容 授業外学修指示													
	回数	授業項目·内容													
	1	ミクロ経済学:効用最大化の基礎 レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。													
	2	ミクロ経済学: 効用最大化の基礎 レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。 2 ミクロ経済学: 効用最大化の応用 レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。 3 ミクロ経済学: 代替効果・所得効果 レジュメの確認・チャレンジ問題を解く。													
	3														
	5 ミクロ経済学: 異時点間最適消費、市場の調整過程 レジュメの確認・チャレンジ問題を角 6 ミクロ経済学: 費用関数、損益分岐点、操業停止点 レジュメの確認・チャレンジ問題を角											ジ問題を解く。			
	6	ミクロ経	済学	ሷ∶費	用関数、	損益分岐	点、操業停	止点	点	レジュメの研	[認・チャレン	ジ問題を解く。			
	7ミクロ経済学: 長期関数、独占レジュメの確認・チャレンジ問:8ミクロ経済学: 複占、寡占レジュメの確認・チャレンジ問:											が問題を解く。			
											-				
		ミクロ経										ジ問題を解く。			
100 111 111 111					ーム理論					_		ジ問題を解く。			
授業計画					5度線分析		論					ジ問題を解く。			
					S=LM分析							ジ問題を解く。			
	-				S=LM分析		io TH ∃Δ					ジ問題を解く。			
					費・投資 A C / L t		於理論					ジ問題を解く。			
				-	D-AS分析		ーレンツ曲	幺白				ジ問題を解く。 ・ジ問題を解く。			
				_	A 然大果年 B 済成長理		レノノ田	小水				ジ問題を解く。			
					部効果、	_,	走業					ジ問題を解く。			
					際貿易理		<u> </u>					ジ問題を解く。			
		ミクロ経				- HIII						ジ問題を解く。			
					DP統計							ジ問題を解く。			
				-	業連関表	<u>ξ</u>						ジ問題を解く。			
	で評 成績	価する。点 評価基準	数は は、S	、得点 (90点	原率を基に、 以上)・A(80,	100点満点に 点以上)・B(7	□換算する。 □点以上)・C(6	10点」	以上)•D(59点以			を下記の観点・割合			
評価方法						言語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合			
言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割合 月例テスト © © 72%															
			生模				0					28%			
履修上の注意	授	例テスト	·及び 質上、	麻生	につき2時間	常の授業と	 は別のコマP 3時間で実施	する	5 .		l				

	1																
科目名	急	法詞	構拿	盖													
科目名(英)																	
単位数		3単化	立		時間数		45時間		担当者				畄	田位	一郎	(
実施年度		2022호	F度		実施時期	 	前期		担当者実務	経験							
対象学科・学年	公	 務員中	上級	 東攻	L [科1年												
***************************************						4 > 7	「実けいこの」		+ + 45 fn =th	ু ≁ ব্যক্ত		7 [· + +		N. L.		+年 /ロ
授業概要	障.	分野	こおし	ハてに	は各人権の内	容及	「憲法」につい なび判例の知 票準程度のも	哉、「	統治機構」分	う野に る	おい	ては	t、条3	大内容			
授業形式	講義	: (0	演	習: △	実	習:	実技	支:		*	主た	る方法	去:〇	その	の他 : ∠	Δ
	情報 技	口的 運動 技能 技能		その他					目標	Ē							
	0	_					容を理解することがで										
学習目標 (到達目標)	- '	O			本試験における	基礎	及び標準程度の	問題に	こついて、問題を	「解き、」	上解し	に達す	すること	ができる	.		
テキスト・教材	-[-	テキス	h][/	公務員	員試験 過去	問攻	、 略Vテキスト	3 ء	景法』(TAC株	式会	生、:	2019	9年)				
参考図書	-[問題集	】『新	fスー	パー過去問	どミ6	憲法』(資格	試験	研究会、株芸	式会社	.実	務教	育出版	反、202	20年)		
	回数	憲法総論(憲法の基本原理、憲法の分類) 【事後】テキストの授業該当範囲を精読しておくこと 人権保障①(基本的人権の原理) 【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと															
	1 慧	憲法総論(憲法の基本原理、憲法の分類) 【事後】テキストの授業該当範囲を精読しておくこと 【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと 【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと															
	2)																
	3)	【事後】問題集の該当節囲をチェック表に従い解いておくこと															
	4)	、権保障	③(基	本的	人権の限界②)											ておくこと	
	5)	、権保障	(幸	福追落	找権①)											ておくこと	
	6	、権保障	·⑤(幸	福追落	找権②)											ておくこと	
	7)	権保障	(法	の下の	の平等①)											ておくこと	
	8 /	権保障	⑦(法	の下の	の平等②)					. ,						ておくこと	
	-				の平等③)											ておくこと	
					心の自由)											ておくこと	
	-	、権保障								. ,						ておくこと	
		、権保障														ておくこと	
		、権保障														ておくこと	
		権保障														ておくこと	
		、権保障														ておくこと	
		、権保障														ておくこと	
		権保障														ておくこと	
		権保障														ておくこと	
	\vdash				Rの自由①)											ておくこと	
					界の自由②) 					【事後】問	題集	の該当	範囲をチ	ェック表に	従い解い	ておくこと	
					Rの自由③)					【事後】問	題集	の該当	範囲をチ	ェック表に	従い解い	ておくこと	
授業計画		権保障			_					【事後】問	題集	の該当	範囲をチ	ェック表に	従い解い	ておくこと	
		権保障														ておくこと	
		権保障														ておくこと	
		権保障			_											ておくこと	
		、権保障 								【事後】問	題集	の該当	範囲をチ	ェック表に	従い解い	ておくこと	
	IZIIノ	、権保障	.vo/\fI	工作(ارو					I							

	28 人権保障②(社会権④)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	29 人権保障③(人身の自由①)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	30 人権保障②(人身の自由②)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	31 統治機構①(統治総論、国会の	地位①)			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	32 統治機構②(国会の地位②)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	33 統治機構③(国会の組織・活動))			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	34 統治機構④(国会と議院の権能)			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	35 統治機構⑤(国会議員の特権)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	36 統治機構⑥(内閣の地位・組織))			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	37 統治機構⑦(内閣の権能、内閣	総理大臣の権能)		【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	38 統治機構⑧(司法権の意義、司	法権の範囲と限	界①)		【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	39 統治機構⑨(司法権の範囲と限	(事後) 統治機構((司法権の範囲と限界(2)) (事後) (事後) (事後) (事後) (事後) (事後) (事後) (事											
	40 統治機構⑩(裁判所の組織・権	限)			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	41 統治機構⑪(違憲立法審査権)			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと							
	42 統治機構⑫(地方自治①)			【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと							
	43 統治機構③(地方自治②)				【事後】問題集の該当範囲をチェック表に従い解いておくこと								
	44 統治機構係(地方自治③)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	45 統治機構⑤(憲法保障)				【事後】問題集の該当	範囲をチェック表に従	い解いておくこと						
	(1)10月〜翌年2月の間、毎月1月月(価する。点数は、得点率を基に、100g成績評価基準は、S(90点以上)・A(80なお、遠隔授業に切り替わった場合に	点満点に換算する 点以上)・B(70点」	5。 以上)•C(60点以_	上)·D(59点以下)	とする。		記の観点・割合で評						
	言語情報 知的技能 運動技能 態度・意欲 その他 評価割												
評価方法	定期試験	0	0										
21	小テスト	0	0										
履修上の注意	月例テスト及び麻生模試は社会情勢の変化に伴い、同					ある。							

	1														
科目名	行i	政法詞	構義	<u>.</u>											
科目名(英)															
単位数		3単位		時間数		45時間		担当者		高取 仙	 山貴				
実施年度	20	022年度		実施時期	1	前期	;	担当者実務網	圣験						
対象学科・学年	公務	員中上級	及専攻	 [科1年											
授業概要						ついての基本的 程度の問題を					 ⁻ る力を培う。				
			_			1			I						
授業形式	講義:	0	演 [·]	習: Δ	実	習:	実技			※ 主たる方法:○	その他:△				
	言語 知的 技能	技能 意欲		る。					は判例	を、組織についてはシ	[,] ステムの埋解をす				
学習目標 (到達目標)	0			本試験におり	ナる	標準的問題に	ついて	て、正解に達	を するこ	ことができる。					
テキスト・教材 参考図書										会社、TAC株式会社 社実務教育出版、2					
	回数	授業項目・内容 授業外学修指示 行政法総論①(行政法の意義、法律による行政の原理) 授業該当範囲のテキストを精読しておくこと													
	1 行i	行政法総論①(行政法の意義、法律による行政の原理) 授業該当範囲のテキストを精読しておくこと 行政法総論②(行政法の法源) 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておく													
	2 行i	1] 政法総論②(行政法の法額) 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておく													
	3 行i	2 1] 政法総論②(1] 政法の法原) と													
	4 行i	政組織法	(Ť	_了 政主体∙行政	女機	関)			ح	問題集の授業該当範囲の					
	5 行i	政組織法	2(1	丁政機関相互	の関	[係、委任と代	:理)		۔ ع	問題集の授業該当範囲の					
	6 行	政組織法	3([国の行政組織)				٤	問題集の授業該当範囲の					
	7 行i	政組織法	(4)(對	也方の行政組	織①))			ع ع	問題集の授業該当範囲(
	8 行i	政組織法	⑤ (划	也方の行政組	織(2	())			۔ ع	問題集の授業該当範囲の					
	9 行i	政作用法	(î	于政行為① 意	意義)			ح	問題集の授業該当範囲の					
	10 行i	政作用法	2(1	f政I行為② ┆	諸效	カ)			٤	問題集の授業該当範囲の					
	11 行i	政作用法	(* 3)(**	可政行為③ 		行為の内容に	こよる	力規/	٢	問題集の授業該当範囲の					
						裁量①)			ے	問題集の授業該当範囲の					
						裁量②)			ح	問題集の授業該当範囲の 問題集の授業該当範囲の					
						行為の瑕疵①			ے	同題集の授業該当範囲の 問題集の授業該当範囲の					
						行為の瑕疵②			٢	同題集の授業該当範囲 問題集の授業該当範囲					
						行為の取消し	と撤回	리/	ح	同題集の授業該当範囲 問題集の授業該当範囲					
				于政行為⑨ (1 - 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1		行為の附款)			لح	問題集の授業該当範囲					
				了政手続法① - 本 4 4 4 8					٢	問題集の授業該当範囲					
				了政手続法② - ひょく は は ②					ع	問題集の授業該当範囲の					
				テ政手続法③ - ひょしのお		* ER.(T))			ع	問題集の授業該当範囲の					
				テ政法上の強		-			ح	問題集の授業該当範囲の					
授業計画				テ政法上の強 					ح	問題集の授業該当範囲の					
				テ政法上の強	刑于	-f文③))			ع	問題集の授業該当範囲の					
				了政指導①) 					ے	問題集の授業該当範囲の					
				于政指導②) 于政計画、行政	いまの	終 力)			٤	問題集の授業該当範囲の					
				可以計画、行列 可政立法①)	以天	<u> ጥህ/</u>			۔ ع	問題集の授業該当範囲の					
	/]]]	ᄊᆙᄼ	(UV) (I	, ~~ ~~ /~ \\\\\					l L						

	28	行政作用法⑩(行政立法)	2)			【事後】問題集のと	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	29	行政救済法①(国家補償の	の意義)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	30	行政救済法②(国家賠償)	去1条論①)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	31	行政救済法③(国家賠償)				<u>-</u> 【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	32	行政救済法④(国家賠償)	法2条論①)			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	33	行政救済法⑤(国家賠償)				【事後】問題集の	授業該当範囲の	り問題を解いておくこ					
	34	行政救済法⑥(損失補償))			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	35	行政救済法⑦(行政不服報				【事後】問題集の	授業該当範囲の	り問題を解いておくこ					
	36	行政救済法⑧(行政不服報				【事後】問題集の	授業該当範囲0	り問題を解いておくこ					
	37	行政救済法⑨(行政不服署				【事後】問題集の	授業該当範囲0	り問題を解いておくこ					
	38	行政救済法⑩(行政事件語	 訴訟法の全体			【事後】問題集の	授業該当範囲0	D問題を解いておくこ					
	39	行政救済法⑪(取消訴訟の	 の訴訟要件①))		【事後】問題集の	授業該当範囲0	D問題を解いておくこ					
	40	行政救済法⑫(取消訴訟(の訴訟要件②	2))		【事後】問題集の	授業該当範囲0	り問題を解いておくこ					
	41	行政救済法③(取消訴訟(の訴訟要件③	3))		【事後】問題集の	授業該当範囲0	D問題を解いておくこ					
	42	行政救済法⑭(取消訴訟の	の審理手続き	 、判決の効力	(ל	【事後】問題集の	授業該当範囲0	D問題を解いておくこ					
	43	行政救済法()(他の抗告語	 訴訟①)			【事後】問題集の	D問題を解いておくこ						
	44	行政救済法値(他の抗告詞	 訴訟②、当事	 者訴訟)		【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ							
	45	行政救済法⑪(客観訴訟))			【事後】問題集の	授業該当範囲0	D問題を解いておくこ					
		」 月~翌年2月の間、毎月1回月例			に各1回ずつ「床	<u>に</u> ほ生模試」を実施す	 する。以上を下訂	己の観点・割合で評価					
	成績	。点数は、得点率を基に、100点満 評価基準は、S(90点以上)・A(80	D点以上)・B(70点	点以上)·C(60点									
	なお、	、遠隔授業に切り替わった場合は					1						
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合					
評価方法		月例テスト	©	0				72%					
	<u> </u>	麻生模試	0	0				28%					
= * Lの注意	F		 、通常授業と	は別の授業=	 コマ内で行う。	ı							
履修上の注意		t会情勢の変化に伴い、回					ある。						

科目名	J	民法	去諱	 事	复(新	総則•物	権)								
科目名(英)																
単位数	(6 3単位	単位立にな)	時間数		45時間/90	時間	担当者		三角	徳之			
実施年度		202	22年	度		実施時期	A	前期		担当者実務網	圣験					
対象学科•学年	1	〉務員	•中.	上級	専攻	<u></u> (科1年										
授業概要	9	ける。				となる民法の の基礎及び						識を習得し、条文・半う。	例を正確に理解			
授業形式	講	義:	()	演	習: △	実	習:	実	 支:		※ 主たる方法:〇	その他:△			
	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他					目標	Į					
	0															
学習目標 (到達目標)		0				本試験にお	ける	基礎及び標準	集的 問	題について、	、正解	作に達することができ	る。			
(到连日保 <i>)</i>																
テキスト・教材 参考図書		民法の全体像 授業該当範囲のテキストを精読しておくこと 授業該当範囲のテキストを精読しておくこと 総則①(権利の主体、権利能力、意思能力) 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いてお と														
	回数		公務員試験 過去問攻略Vテキスト 民法(上)』(TAC株式会社、2019年) ボスーパー過去問ゼミ6 民法 I』(実務教育出版、2020年) 授業項目・内容 授業外学修指示 提業該当範囲のテキストを精読しておくこと 提測①(権利の主体、権利能力、意思能力) [事後]問題集の授業該当範囲の問題を解いたとと (別②(行為能力、制限行為能力者①) [事後]問題集の授業該当範囲の問題を解いたとと [別③(制限行為能力者②) [事後]問題集の授業該当範囲の問題を解いたとと [別③(制限行為能力者③) [事後]問題集の授業該当範囲の問題を解いたとと [別③(制限行為能力者③) [事後]問題集の授業該当範囲の問題を解いたとと [別③(特限行為能力者③)													
	1	民法	「大スーパー過去問ゼミ6 民法 I 』(実務教育出版、2020年) 授業項目・内容 授業外学修指示 授業該当範囲のテキストを精読しておくこと 提別①(権利の主体、権利能力、意思能力) [事後]問題集の授業該当範囲の問題を解いと と													
	2	総則	技業項目・内容 授業外学修指示 提業 投業 投業 投業 投業 投業 投業 投業													
	3	総則	は (本利の主体、権利能力、意思能力) (事後)問題集の授業該当範囲の問題を解いて と (事後)問題集の授業該当範囲の問題を解いて と (事後)問題集の授業該当範囲の問題を解いて と (事後)問題集の授業該当範囲の問題を解いて と (本代)問題を解いて と (本代)問題を解いて と (本代)問題を解いて と (本代)問題を解いて と (本代)問題を解いて と (本代)問題を解いて と (本代) に (
	4	総則	応則(2)(1) 為形力、削減1) 為形力有(1)													
	5	総則	で則(人(1) 荷化刀、叩(及(1) 荷化刀(1)) と と													
	6	総則]⑤(失路	宇宣台	<u></u> 片)					事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	7	総則	則③(制限行為能力者②) 則③(制限行為能力者②) 則④(制限行為能力者③) 則⑤(失踪宣告) 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解い と 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解い と													
	8	総則]⑦(意思	表表表	<u>r(1)</u>					事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	9	総則]8)(意思	表表表	元②)					事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	10	総則	<u>J</u> (9)(意思	表表表	F (3)					事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	11	総則](10)(意思	表表表	<u></u> (4)					事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	12	総則](1)(無交	カと取	7消し、条件・	期限)			事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	13	総則](12)(代理	1 (1)						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	14	総則](13)(代理	(2)						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	15	総則](14)(代理	(€≣						事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	16	総則](15)(代理	4)						事後	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	17	総則](16)(代理	1 (3)						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	18	総則]①(時交	h (1))						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	19	総則](18)(時交	力②)						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	20	総則](19)(時交	力③)						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	21	総則]20(時交	h (4))						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
140 Alk = 1	22	物権	1	物の)意義	遠、物権の性:	質·兹	为力)			事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
授業計画	23	物権	2(物格	法法定	 足主義、物権	的請	求権、所有権	重)		事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	24	物権	3 (不重	力産物						事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	25	物権	4 (不重	加産物	勿権変動②)					事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	26	物権	(5)	不重	力産物	勿権変動③)					事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			
	27	物権	6 (不重	力産物	勿権変動④)					事後と	別問題集の授業該当範囲	の問題を解いておくこ			

	28	物権⑦(動産物権変動①))			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	29	物権⑧(動産物権変動②))			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	30	物権⑨(占有権)				【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	31	物権⑩(用益物権)				【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	32	物権⑪(共有)				【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	33	物権⑫(担保物権の意義・	·通有性①)	-		【事後】問題集のと	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	34	物権③(担保物権の通有性	性②)			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	35	物権(4)(留置権(1))				【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	36	物権(5)(留置権(2))				【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	37	物権⑯(留置権③)				【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	38	物権⑪(質権①)				【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	39	物権⑱(質権②)				【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	40	物権⑲(抵当権①)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ						
	41	物権⑩(抵当権②)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ						
	42	物権②(抵当権③)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ						
	43	物権②(抵当権④)				【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いてお							
	44	物権③(抵当権⑤)				【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと							
	45	物権⑭(根抵当権)				【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと							
	する 成績)月〜翌年2月の間、毎月1回月例 。点数は、得点率を基に、100点流 評価基準は、S(90点以上)・A(80 、遠隔授業に切り替わった場合は	満点に換算する。 〕点以上)・B(70点	点以上)・C(60点	以上)・D(59点以	以下)とする。		己の観点・割合で評価					
			言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
評価方法		月例テスト	0	0				72%					
		麻生模試	0	0				28%					
履修上の注意	· 名	月例テスト及び麻生模試は、通常の授業とは別の授業コマ内で行う。 各単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。											

科目名	Ę	民法	去請	構義	复(1	責権∙親加	疾	•相続)								
科目名(英)			3単代													
単位数	(;	三角 徳之														
実施年度		20	22年	-度		実施時期		前期		担当者実務	経験					
対象学科•学年	公	務員	員中.	上級	専攻	[科1年										
授業概要	10	理角	解する	る。		となる民法の						本的知識を習得し、条文・判例を正確 う。				
授業形式	講	義:	(Э	演	習: △	実	習:	実技	支:		※ 主たる方法:○ その他:△				
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的 技能	運動技能	態度	その他	₫ .					貝を官	≦待する。宋又及ひ刊物の理解を日指 弾に達することができる。				
テキスト・教材																
参考図書	• [『新スーパー過去問ゼミ6 民法Ⅱ』(実務教育出版、2020年) 授業項目・内容 授業外学修指示 債権総論①(債権の意義・性質) 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いてお														
	回数		新スーパー過去問ゼミ6 民法 II 』(実務教育出版、2020年) 授業項目・内容 授業外学修指示 【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いて と													
	1	授業項目・内容 授業外学修指示														
	2	債権	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ													
	3	債権	星総 計	論③	(債剤	等不履行②)										
	4	債権	星総 計	侖④	(債剤	等不履行③)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	5	債権	星総計	命⑤	(責任	E財産の保全)				ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	6	債権	星総 計	命 ⑥	(債格	全者代位権①)				ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	7	債権		命 ⑦	(債権	霍者代位権②)				ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	8	債権		倫 8	(債権	全者代位権(3))				ً غ	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	9	債権	星総計	倫 ⑨	(詐害	言行為取消権 (1)				ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	10	債権	星総計	侖⑪	(詐害	言行為取消権 (2)				ً عَ	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	11	債権	直総 部	倫 ①	(詐!	言行為取消権 (3)				ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	12	債権	直総 部	角①	(債権	室の消滅原因	、弁	済①)			ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	13	債権	直総 部	論(13)	(弁)	(2)					ً غ	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	14	債権	直総 計	論(14)	(相希	ይ ①)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	15	債権	直総計	倫 (15)	(相希	t2)					ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	16	債権	直総計	倫 16	(債格	[譲渡①)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	17	債権	星総計	侖①	(債権	重譲渡②)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	18	債権	直総 計	角18	(債権	重譲渡③)					ے	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	19	債権	直総 計	角19	(連青	詩債務①)					ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	20	債権	直総 部	侖20	(連青	詩債務②)					ع ا	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	21	債権	直総 部	侖②	(保証	[債務①]					٤	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ 				
授業計画	22	債権	直総計	侖22	(保証	I債務②)					٢	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
						的総論①)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
						り総論②)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
						[契約①)					ً ع	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
						[契約②)					لح	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				
	27	債権	[各]	命 ⑤	(売買	買契約③)					【事後	後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこ				

	28	債権各論⑥(賃貸借契約)	1)			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	29	債権各論⑦(賃貸借契約)	2)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	30	債権各論⑧(賃貸借契約	3)			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	31	債権各論⑨(贈与契約、消	 ∮費貸借契約	 、使用貸借契	 2約)	【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	32	債権各論⑪(請負契約、委	- \$任契約)			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	33	債権各論①(事務管理、7	5当利得①)	-	-	【事後】問題集のと	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	34	債権各論⑫(不当利得②))			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	35	債権各論③(不法行為①))			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	36	債権各論⑭(不法行為②))			【事後】問題集の	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	37	債権各論⑤(不法行為③))			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	38	債権各論⑥(不法行為④))			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	39	債権各論①(不法行為⑤))			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	40	親族①(身分行為の概念、	、婚姻①)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	41	親族②(婚姻②、離婚)				【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	42	親族③(親子)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ						
	43	相続①(相続の基本概念、	、相続人)			【事後】問題集の と	授業該当範囲の	D問題を解いておくこ					
	44	相続②(相続分)				【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと							
	45	相続③(遺言、遺留分減約	设請求権)			【事後】問題集の授業該当範囲の問題を解いておくこと							
	する 成績)月〜翌年2月の間、毎月1回月例 。点数は、得点率を基に、100点流 評価基準は、S(90点以上)・A(80 、遠隔授業に切り替わった場合は	満点に換算する。 〕点以上)・B(70点	点以上)・C(60点	(以上)・D(59点以	以下)とする。		己の観点・割合で評価					
			言語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合					
評価方法		月例テスト	0	0				72%					
		麻生模試	0	0				28%					
履修上の注意	2	月例テスト及び麻生模試は、通常の授業とは別の授業コマ内で行う。 各単元を複数回の授業に跨って説明する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。											

科目名	1	宁政 :	分里	予請	講義(政治	学)										
科目名(英)																
単位数	(3単 2単位に		i)	時間数	3	80時間/45時	間	担当者		村田 祐	请子				
実施年度		2022	年度		実施時期		前期		担当者実務網	経験						
対象学科·学年	1/2	. 務員中	中上級	東攻	ζ科1年											
授業概要	月月	引いて習	得す	る。	門試験におい						内で配布されるオリシ ^生 ぶ。	ジナルレジュメ を				
授業形式	講	義:	0	演	習: △	実習	:	実技	支:		※ 主たる方法:〇	その他:△				
	言語 情報	知的 運動技能 技能							目標							
	0	0									達することができる。					
学習目標	0	0			以后子にしたなる。	, (,)	ペ子子 のレハ	\)\\\	リ小年を理解	÷U、2	ト試験に刈心するこ	こかできるように				
(到達目標)																
テキスト・教材参考図書	7	「リジナ	ルレ	ブュメ	· (担当講師作	成のオ	トリジナルの	授業	シュメ)							
	回数				授業項	頁目・月	内容				授業外学修	指示				
	1	政治学	の基	礎事	項 政治権力							するので、その該当範				
	2	政治権	囲を復音しておく。 専門演習の範囲を事前に指定するので、その 囲を復音しておく。 専門演習の範囲を事前に指定するので、その 囲を復習しておく。													
	3	図石権 月2 囲を復習しておく。														
	4	国家観	Į				専門演	関習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範							
	5	国家観	₹2				専門演	<u>ま自しておく。</u> 寅習の範囲を事前に指定で 夏習しておく。	するので、その該当範							
	6	デモク	ラシー	 -の歴	 E史		専門演	関習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範							
	7	政治の	制度	権:	 力分立制					専門演	夏習しておく。 寅習の範囲を事前に指定で	するので、その該当範				
	8	権力分	立制	2						専門演	夏習しておく。 寅習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範				
		権力分								専門源	夏習しておく。 寅習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範				
		政治の			—————————————————————————————————————					専門演	<u>『習しておく。</u> 寅習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範				
	├	選挙	- 2376		,,,					専門演	夏習しておく。 寅習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範				
		選挙2								専門濱	<u>『習しておく。</u> 寅習の範囲を事前に指定で	するので、その該当範				
		日本の	小政学	ı							<u>『習しておく。</u> 寅習の範囲を事前に指定 [。]	するので、その該当範				
		日本の									<u>『習しておく。</u> 寅習の範囲を事前に指定 [。]	するので、その該当範				
授業計画		圧力団		,∠							『習しておく。 演習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範				
12米川凹		政治の		レ⁄字	話						『習しておく。 演習の範囲を事前に指定す	するので、その該当範				
										囲を復	『習しておく。 寅習の範囲を事前に指定す					
		政治の								囲を復	習しておく。 質習の範囲を事前に指定す					
	-	政治の			劉3					囲を復	習しておく。 質習の範囲を事前に指定す					
	├	イデオ								囲を復	『習しておく。 演習の範囲を事前に指定す					
		イデオ								囲を復	望しておく。 実習の範囲を事前に指定す					
		イデオ			=^					囲を復	習しておく。 関習の範囲を事前に指定する					
		マスメ								囲を復	と言い。 <u>で習しておく。</u> 食習の範囲を事前に指定す					
		マスメ			_					囲を復	と言い起西と手前に指定を <u>で習しておく。</u> 質習の範囲を事前に指定す					
	24				舗3					囲を復	関目の戦団を事前に指定 <u>関習しておく。</u> 関習の範囲を事前に指定す					
		政治文				囲を復	[習しておく。									
		政治過								囲を復	寅習の範囲を事前に指定で 夏習しておく。					
	27	政策決	定論								寅習の範囲を事前に指定で 夏習しておく。	するので、その該当範				

	28	政治体制と政治変動		専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。							
	29	現代の民主主義理論と独	裁	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。							
	30	政治学の現在 行動科学	への批判	専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範囲を復習しておく。							
	以上 成績	1)10月~翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。									
評価方法			言語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合			
		月例テスト	0	0				72%			
		麻生模試	0	0				28%			
履修上の注意		月例テスト及び麻生模試は通常の授業とは別のコマ内で実施する。 社会情勢の変化に伴い、回によって遠隔授業に切り替えて講義等を行う場合がある。									

科目名	行政分野講義(行政学)												
科目名(英)													
単位数	(3単位 (1単位に相当)			時間数	時間数 15時間/45		担当者		村田 祐	貴子		
実施年度	2022年度			実施時期		 前期	担当者実務	経験					
対象学科・学年	1,	 \務員中	□上級	車攻	<u>l</u> 7科1年								
授業概要	· 2	公務員1次試験専門試験において出題される行政学分野の知識を授業内で配布されるオリジナルレジュメを 用いて習得する。 また、過去の公務員採用試験の復元問題を解くことで本試験の傾向を学ぶ。											
授業形式	講	講義: 〇 演			習: △	実習: 実技:			※ 主	たる方法∶○	その他:△		
	言語 情報	言語 知的 運動情報 技能 技能		その他		11	<u> </u>	目標	5				
	0	O 本試験における標準レベルの問題について、正解に達することができる。											
学習目標	0	〇 行政学について、大学学部レベルの水準を理解し、本試験に対応することができるようになる。									るようになる。		
(到達目標)													
テキスト・教材 参考図書	オ	オリジナルレジュメ(担当講師によるオリジナルの授業レジュメ)											
	回数				授業	項目・内	內容			授業外学修	指示		
	1	行政学	の展	開 1	行政の概念と	:福祉国	専門演習の範囲を復習してお		するので、その該当範				
	2	行政学	の起	源				囲を事前に指定す	するので、その該当範				
	3	アメリカ	行政	学の	発展		専門演習の範囲を復習してお	囲を事前に指定す	するので、その該当範				
	4	アメリカ	行政	学各			専門演習の範囲	囲を事前に指定 ⁻	するので、その該当範				
	5	現代日	本の	 行政	制度 行政權	機関の糸		囲を事前に指定す	するので、その該当範				
	6	戦後日						囲を事前に指定す	するので、その該当範				
	7									<u>目を復習しておく。</u> 東門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範 目を復習しておく。			
授業計画	8									門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範			
	Ľ.	(目を復習しておく。 専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範			
		行政改		т іші				<u>目を復習しておく。</u> 『門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範					
		行政改		エナ			囲を復習してお 専門演習の範	を復習しておく。 門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範					
	L.,	13.57.57	中の	十冮			囲を復習してお	目を復習しておく。 評門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範					
		官僚制	ナエ	1 444	4.1 		囲を復習してお	目を復習しておく。 専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範					
				- 17-	制 政策形成	の埋舗	囲を復習してお	型を復習しておく。 専門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範					
		4 情報公開制度								を復習しておく。 門演習の範囲を事前に指定するので、その該当範			
	15	地方の	行政			囲を復習してお		りるので、この政当地					
評価方法	(1)10月〜翌年2月の間、毎月1回月例テストを実施する。(2)翌年1・3月に各1回ずつ「麻生模試」を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。点数は、得点率を基に、100点満点に換算する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。 なお、遠隔授業に切り替わった場合は、上記の方法に代えて、レポート課題提出等の方法を採用することがありうる。												
						語情報	知的技能	運動技能	態度·意欲	その他	評価割合		
			例テ			0	0				72%		
	麻生模試					0	0				28%		
		7 /m/ —		. ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ		k - 1- :	K . D' -	<u> </u>					
履修上の注意							僕とは別のコマ ⋮隔授業に切り			ある。			